

役員・理事活動など

- ・役員会・理事会 (月1回)
- ・視察研修会 (6月・11月)
- ・ふるさとまつり盆踊り・運動会 (9月)
- ・敬老会・防災訓練 (10月)
- ・まちづくり懇談会 (11月)
- ・新春のつどい (1月)
- ・自治会加入促進活動 (通年) など

部会活動

交通部

- ・青パト交通安全パトロール (偶数月)
- ・自転車交通安全街頭啓発活動
- ・交通安全教室



防犯環境部

- ・青パト防犯パトロール (奇数月)
- ・小山地区地域市民清掃の日 (5月・11月)
- ・環境浄化パトロール参加



防災部

- ・普通救命講習会 (年1回)
- ・連合自主防災隊総合防災訓練 (10月)
- ・防災無線通信訓練 (月1回)



広報部

- ・おやま広報発行 (年3回)
- ・地区連HP運営 (通年)



など、さまざまな活動が予定されています。

地区老連・地区子連の主な事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地区老連	地区老総会		ポッチャ大会			ふるさとまつり		芸能大会		初詣	日帰り旅行	
地区子連		健康まつり		健康麻雀		敬老会		社協ふれあい		向陽小学習支援		公民館まつり地区老活動PR
地区老連												
地区子連		スポーツレクリエーション大会							Jr クリスマス会		Jr 養成研修修了式	Jr 歓送迎会
地区子連				Jr 養成研修会								
地区子連		ファミリースポーツ大会										
地区子連												

※計画は予定であり変更になる場合があります。

水川町自治会長 武井 弘吉



3月の新旧合同委員会で、新年度の区組長が選出され、自薦他薦により3専門部への所属と役割分担を決定。

4月末の研修会で自治会全体の目標、業務の流れを確認し、新年度がスタート。自治会の重点目標も特に変化なく、例年通りです。保有する自治会館と公園を有効に利用し、町内全体と全団体との交流活動を支援促進することに注力します。ただ高齢化が顕著になり、お亡くなりになる方、施設等に入居の方が多くなり、空き家が目立ちます。地域の防災防犯のため、更に交通事故防止のため、自治会全体による監視と見守りを強化する必要があります。水川町にお住いの全員のご協力を切にお願いいたします。

相模原駅前自治会長 星 清次

相模原駅前自治会は、戸建てとマンションの複合地域です。全世帯数のうち60%はマンションですが、まだまだ

自治会未加入のマンションは多く、加入率アップに向けて、試みをしています。ネットを利用して他市の例などを参考に加入率アップにつなげます。また独自事業で、災害時要援護者支援対策として、ひとり住まいの高齢者や体に障害のある方を対象に「災害弱者等支援カード」を作製し、非常時の安否確認や救出に向かうこととしていますが、マンションの非常階段は規格がバラバラでそのような場合の救出方法を防災訓練などで練度を上げてゆくとともに、あわせて平常時の見守り活動も回数を増やし、対象者に安心感を与えたいと考えています。

東第1自治会長 高橋 寛幸

東第1自治会の区域はJR横浜線相模原駅に近く通勤に至便であることから、高層マンションが多く住民の大半は郊外に通勤しています。遠藤前自治会長は、「人間はお互いに助け合って生きており、自治会活動を活性化することによって絆が深まる」との姿勢を貫いてきました。

今回5年間の実績を残して勇退をされました。私も前任者の姿勢を継承すると共に、「明るくて楽しくて自治会に入ってくれた」と喜んでもらえる自治会にしていく決意です。楽しく有意義な企画があればとどしお寄せください。

丸山自治会長 菊池 敏文

平成最後の1年間、会長を務めてまいりましたが、地区連等団体の多種多様な地域活動に関わることの比重の大きさには驚きでした。

丸山自治会のために尽力すべきであったはずが、現状を鑑みると“木を見て森を見ていなかった”と痛感させられました。その“森”を見ると、世代の異なる住民のニーズに合わせるため地域住民に対する自治活動などの在り方、仕掛けを模索する必要があるのではないのでしょうか。

新年度も丸山自治会としては、“住民の住民による住民のための自治会”をモットーに、多彩な行事、活動を支えるとともに、増加する高齢者対応もさることながら数少ない子供が元気で健やかな成長ができる環境を整えていければと思っています。

宮下自治会長 入谷 利郎



以下の重点課題に取り組みます。
【防災・減災の取り組み】：6月に普通救命講習会、9月に防災訓練を実施・自治連作成「風水害事の対応マニュアル」を基に地域住民への啓蒙と講習会を企画。

【防犯対策の取り組み】：犯罪発生ゼロを目指し以下を実施。
・青パトによる児童下校時のパトロール (通年)
・夜間防犯パトロール (4回/年)
・わんわんパトロール (通年)
・青パト実施者講習会開催

【高齢社会の対応】：昨年度、当自治会の加入世帯中の75歳以上の比率は約28%で、地域全体で福祉推進の事業として今後も「さりげない見守り活動」及び協力者との連携を継続していく。

すすきの自治会長 秋和 由紀雄

今年度から自治会長を務めることになりました。住民の皆様と共に、まずは「安全・安心な、笑顔溢れるまちづくり」

に取り組んでいきたいと思ひます。そして、渡前会長の路線を継承させて頂き、「和気あいあいと、楽しく明るく笑顔で」自治会運営を行っていく所存です。

本年は新元号のスタートの年でもあり、新たな気持ちで皆様と共に、地域の発展と地域住民の連携・絆の強化に向けて尽力したいと思いますので、ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

すすきの向陽自治会長 江口 基明

『高齢化社会と向き合おう』
少子高齢化は私たちの地域にも少しずつ進み、深刻化しています。このような地域環境の中、ふれあい・助けあい・支えあいを基本に安全安心で暮らせるまちづくりを“令” (冷静)に見、高齢者も会員一人一人も“和”める地域づくりを自治会活動の中で築きあげてまいります。

向陽町自治会長 田村 浩志

今年度から会長を務めさせていただくことになりました。自治会活動にもっと関心を持っていただけるよう、さらなる情報の共有化を図り、意見・要望を出しやすい環境づくりに努めてまいります。

また、地域環境の向上を目指すため、子ども部と連携し公園の美化活動等を行うとともに、夏祭りや地区のイベントなどへの参加を通して、皆様との交流を促進していきたいと思っています。地域の皆様に自治会活動の必要性を感じてもらえるよう、役員一同努力してまいります。

久保原自治会長代行 丸山 和加恵

久保原自治会の会長代行を行う丸山和加恵です。今年度より自治会の会長の仕事を5人の現役世代の副会長で支えていく事になりました。当自治会は139世帯というコンパクトな住宅地です。

小山地区の高齢化率は平均22%とお聞きしますが、自治会別に考えると久保原は31%と高いのが現状です。また、働く世代は65歳まで仕事を続けるという社会へと変貌を遂げ、地域活動ができる人たちが限られています。負担をかけずに誰もが自治会の運営に関われるようなシステム作りと、会員同士や区の小さなコミュニティを大切にしていきます。「この久保原に住んでいて良かった。」と思える笑顔一杯の久保原自治会を目指します。